

課題解決先進地へ



第2次雲南市
総合計画

2015_2024

いのち
生命と神話が息づく
新しい日本のふるさとづくり



ごあいさつ

このたび、平成27年度から平成36年度までの10年間のまちづくりの目標と方向性を示す、第2次雲南市総合計画を策定しました。

計画策定は、多くの市民の皆様や地域づくり団体の参加をいただき、市民一人ひとりがプラチナのように光輝く社会をめざす、プラチナ構想ネットワーク（小宮山宏会長）との共催によるキックオフフォーラムから取り組みがはじまりました。そして、今日まで市民意識アンケート調査、総合計画策定委員会での計画原案の作成、市議会での審議、議決と約2年の歳月をかけ、市民の皆様による丁寧で熱い思いが込められた手づくりの計画としていただきました。

本計画に基づいて、私たちは基本理念である「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」に向け、「課題先進地」から「課題解決先進地」をめざし、具体的な目標として「人口の社会増」への挑戦を掲げました。

そのために、キャリア教育を通じた「子どもチャレンジ」、志のある若者による「若者チャレンジ」、地域自主組織による「大人チャレンジ」を連鎖させ、市民の「総働」による持続可能なまちづくりに挑戦します。

今後とも、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、関係者の方々に心から感謝申し上げます。

雲南市長 速水雄一

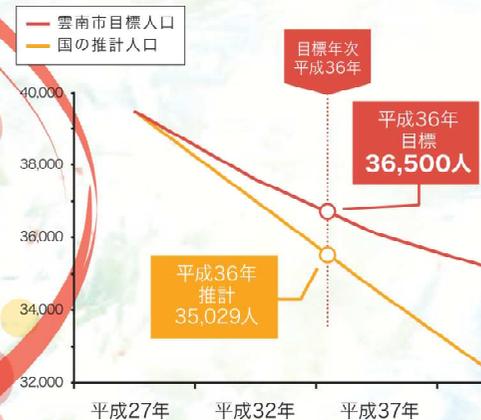
2024

Our Challenge

子どもチャレンジ×若者チャレンジ
×大人チャレンジの連鎖

2015

雲南市の将来人口設計





いのち

生命と神話が息づく 新しい日本のふるさとづくり

「課題先進地」から
「課題解決先進地」へ



基本理念

10年前、私たちは、人口減少、少子高齢化、行政課題の多様化、財政の硬直化といった課題に対応するために、自治体合併を選択しました。そして平成16年11月、力を合わせ、これらの課題を乗り越えるための雲南市が誕生しました。私たちは「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」をまちづくりの理念に掲げ、笑顔あふれる地域の絆、世代がふれあう家族の暮らし、美しい農山村の風景、多彩な歴史遺産、新鮮で安全な食と農という私たちのふるさとが継承してきた5つの恵みを、さらに磨き高め、交流を盛んにしていこうとまちづくりに踏み出しました。

そして10年。5つの恵みを活かし、自らの地域は自らの手で良くしていこうと地域自主組織の創意工夫した温かい地域づくりがすすめられています。子どもたちは、多くの市民の協力により、どこにも負けない「キャリア教育」に取り組んでいます。高校生、大学生、若者たちは、自分の夢と社会貢献を実現しようとしてつながり、さらに志のある若者のネットワークは市外へと大きく広がりつつあります。産業の分野では、業種を超えて事業者同士が手を取り合い、雲南ならではの産業振興への取り組みが始められています。一方、次世代の育成や、私たちの思いをもっと外へ伝えていくということが不十分であるという課題も生まれています。

これからの10年。私たちは、力を合わせて課題を乗り越えるという合併時の決意を忘れず、さらに歩みをすすめます。

グローバル経済が進展する社会において、経済の好循環と地域の自立に向けた挑戦。平和や地球環境、食料、エネルギーなど地球規模の課題に対しての雲南市の責務の遂行。格差や差別のない、安全・安心な暮らしづくり。そして、何よりも持続可能な地域に向け、人口の急激な減少を食い止める挑戦。

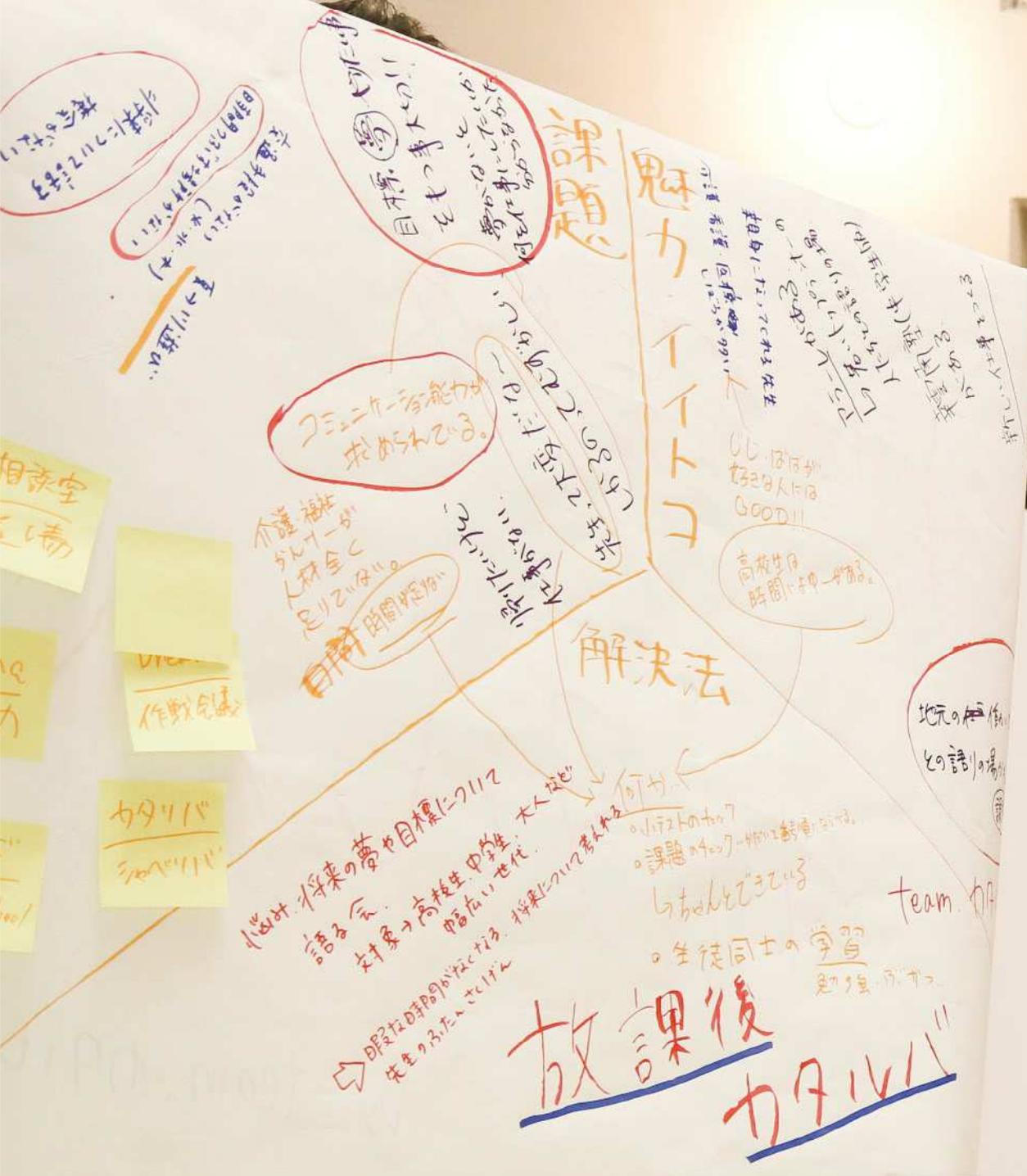
私たちは、雲南市が継承してきた恵みを活かし、助け合い、情報を共有し、互いに学び合い、そして、外へ伝え、外とつながっていくことで、これらの課題に立ち向かいます。我が国の人口減少、少子高齢化社会における課題は、今後、世界が抱える課題でもあります。「課題先進地」から「課題解決先進地」へ、雲南市がすすめる取り組みは、世界に提案する私たちのまちづくりです。

私たちは、「人と自然と歴史と食の幸」を受け継いできたことに感謝し、大切にしていきます。

私たちは、その幸を活かし、市民力を結集し、課題に立ち向かいます。

私たちは、挑戦を通し交流を生み出し、世界につながります。





『人口の社会増』への挑戦

少子化に伴う人口減少社会への対応

雲南市における急激な人口減少は、自然減と社会減の2つの要素によります。要因として自然減は全国的な傾向である少子化の結果であり、さらに20歳代から30歳代を中心とする子育て世代の社会減が大きく影響しています。このため、持続可能なまちづくりに向け、若者の人口流出を抑制し、移住・交流人口の増加により、次世代の担い手を確保していく必要があります。

私たちの挑戦

私たちは、前期基本計画(H27～H31)期間中の早い段階で、社会動態による人口の減少を食い止め、後期基本計画(H32～H36)期間中に増加となるまちに向け、挑戦をはじめます。

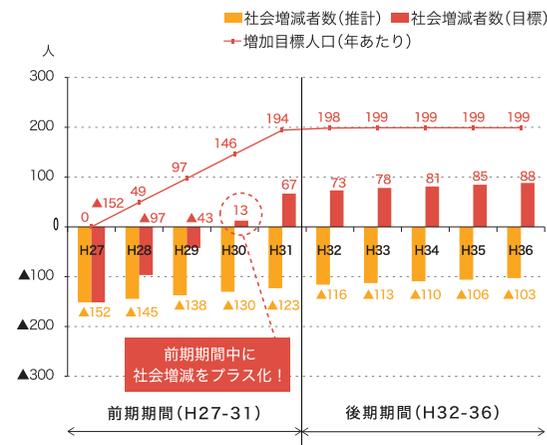
社会動態の現状

雲南市の総人口は、平成17年国勢調査の44,403人から減少し続けています。全国的に人口減少が進む傾向が今後も続くと、基本構想の最終年度となる平成36年には、人口は35,029人となります。

特に、市内に高等教育機関がないことから、18歳から22歳にかけての転出がすすみます。その後のUターンの力も弱く、20歳代・30歳代を中心とした子育て世代の市外流出が大きくなっています。そこで、その世代を対象とする施策を強力にすすめます。

人口増に向けた取り組み

私たちは、20歳代・30歳代を中心とした子育て世代の市外流出の抑制、移住・交流人口の確保に取り組みます。行政は、子育て環境の整備、質の高い教育の提供、雇用や住宅施策など魅力あるまちづくりに対し大胆な施策を展開し、若者の流出を防ぎ、転入人口の増加を誘導することにより、長期的な出生数の向上につなげます。さらに、「人づくり」や「若者誘致」をすすめて、雲南市の若者と全国から集まった若者がいきいきと課題解決にチャレンジをするまちをめざします。





お茶コーナーの料金を値上げさせていただきます
150円=200円
実行委員会

包丁・カマとぎイベント開催!
日時 8月28日(木)
10:00-12:00
※受付は10:00-11:30まで
料金 包丁 1本 200円
カマ 1本 300円

ごみの分け方・出し方

分野ごとの将来像

01 みんなで築くまち

私たちは、市民力の結集の場である地域づくり組織に参画し、様々な地域課題の解決に挑戦します。また、交流人口を拡大し、訪れる人が住みたくなる魅力あふれるまちをめざします。
そのために行政は、地域づくり活動や若者のチャレンジを支援する一方、中間支援組織の育成など、時代を先取りする行政経営に挑戦します。

02 安全・安心で 快適なまち

私たちは、安心して暮らすことのできる地域や美しい農山村の原風景を守る活動、さらに再生可能エネルギーの活用に取り組みます。
行政は、安全・安心な生活を営むための生活基盤の計画的な整備や維持のほか、自然災害や原発事故などに備える体制の整備をすすめる一方、地域自主組織の自主防災・防犯の活動を支援します。また、都市機能の充実や定住のための住宅施策を一層すすめます。

03 支えあい健やかに 暮らせるまち

私たちは、一人ひとりが、健康で生きがいをもち、住み慣れた地域で支えあいの輪を広げ、安心して暮らせるまちをめざします。各機関や地域づくり組織が様々な分野で連携し、地域ぐるみで支え合いや健康づくりをすすめます。
行政は、子どもたちが健やかに育つよう、子育てしやすい環境を一層充実させます。また、医療体制の充実とともに、介護・障がい者福祉サービス基盤の充実を図り、事業者とともにサービス提供に努め、自立に向けた支援をします。

04 ふるさとを学び 育つまち

私たちは、人権を尊重し、子どもたちが心豊かで確かな学力と健康な体をもち、社会を生き抜く力を身につけるよう総力をあげて取り組みます。若者たちは、いきいきと未来を語り合い、その個性と能力を発揮し、まちづくりに参画します。
また、芸術・スポーツを振興するとともに、まちの文化を学び、磨き、その価値を多くの人に伝えることで、ふるさとに誇りをもった人を育てます。
行政は、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育環境の充実を図るとともに、学校・家庭・地域との協働により、子どもから大人まで多様な学びの環境と機会の充実を図ります。

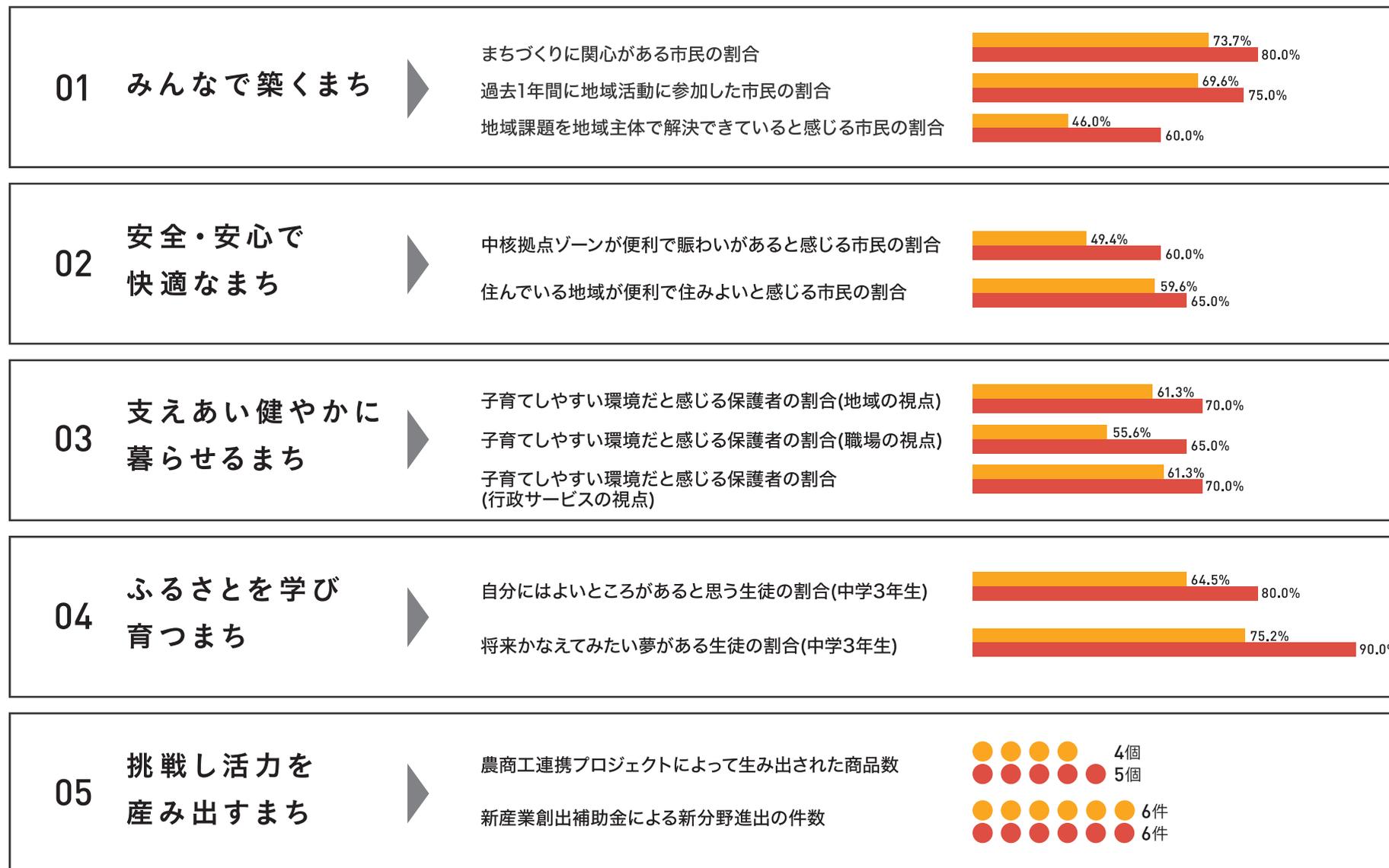
05 挑戦し活力を 産み出すまち

私たちは、地域資源を大切にし、6次産業化や地場産業の連携、農商工連携の活動を一層強め、地域経済の好循環を生み出す取り組みをすすめます。また、地域資源をさらに磨きあげ、積極的に市外へ伝え、交流を拡大し、産業として育てよう努めます。
行政は、農林業や観光、中小企業の振興に加え、企業立地のための環境整備を図るとともに、創業者や経営者の活力ある産業振興に向けた挑戦を支援します。



成果目標

現状値(H25)
 目標値(H31)





UNNAN Challenge

2015_2024

第2次雲南市総合計画 体系図

雲南市の歌

流れきらめく 斐伊の川 大地豊かに 潤して
四季の装い 艶やかに 人の温もり 愛がある
ああ美しき 雲南市
明日に伸び行く わがまちよ

神話息づく 山脈に 歴史文化が こだます
祭囃子に 夢のせて 笑顔あふれる 歌がある
ああ芳しき 雲南市
心安らぐ ふるさとよ

霞たなびく 里の山 緑豊かに いつの代も
絆深める 人の和が 活気あふれる 明日創る
ああ誇らしき 雲南市
希望輝く わがまちよ

基本理念

「課題先進地」から「課題解決先進地」へ
「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」

基本構想

H27～36年度
まちづくりの将来像(政策)

政策Ⅰ. みんなで築くまち

〈 協働・行政経営 〉

政策Ⅱ. 安全・安心で快適なまち

〈 定住環境 〉

政策Ⅲ. 支えあい健やかに暮らせるまち

〈 保健・医療・福祉 〉

政策Ⅳ. ふるさとを学び育つまち

〈 教育・文化 〉

政策Ⅴ. 挑戦し活力を産みだすまち

〈 産業 〉

前期基本計画

H27～31年度
施策

1. 市民が主役のまちづくりの推進
2. 移住・交流の推進
3. 市民と行政の情報の共有化
4. 男女共同参画の推進
5. 時代にあった行政サービスの実現
6. 職員の育成・確保
7. 計画的なまちづくり
8. 財政の健全化

9. 都市・住まいづくりと土地利用の推進
10. 自然と地域環境の保全
11. 地域情報化の推進
12. 生活道路の整備
13. 広域幹線道路の整備
14. 公共交通ネットワークの充実
15. 上水道の整備
16. 下水道の整備
17. 消防・防災対策の推進
18. 交通安全の推進
19. 消費者保護・防犯対策の推進

20. 地域医療の充実
21. 健康づくりの推進
22. 高齢者福祉の充実
23. 障がい者(児)福祉の充実
24. 生活困窮者の支援
25. 地域福祉の充実
26. 子育て支援の充実

27. 学校教育の充実
28. 生涯学習の推進
29. 青少年健全育成の推進
30. 平和と人権の尊重
31. 生涯スポーツの振興
32. 地域文化の振興

33. 地域資源を活かした産業の創出
34. 雇用機会の充実と安定
35. 工業の振興
36. 農業の振興
37. 林業の振興
38. 観光の振興
39. 商業の振興